



信楽町長野
くずはら けん と
葛原 健人さん

サッカー選手から審判員へ ケガを克服し、 全国大会決勝の大舞台に立つ

県サッカー協会審判委員の葛原健人さんは現在高校3年生。この夏開催された全日本少年サッカー大会に県代表審判員として参加。予選での審判成績上位に出場資格が与えられる決勝戦では主審に抜擢されました。その時の様子や将来の夢などをご本人に伺いました。

- 全国大会決勝の主審を終えられた感想は
スタンドには3,000人弱の観客が詰め掛け、テレビ中継もあり注目の一戦だったので、ミスは許されないと感じていましたが、冷静に迷うことなく審判することが出来ました
- 審判員資格を取得するきっかけは何だったのですか
一中学2年生のときに膝に大ケガを負ってしまい、選手を続けることが出来なくなりました。サッカーに関わり続けたい想いと父の薦めもあって審判員の道を選択しました。
- 審判員をやっていて楽しいところは何ですか
自分でゲームをコントロールできるところが一番面白いと感じています。
- 審判員をされていてケガの影響はないのですか
一現在影響はありません。試合中常に走り回るので、毎日5kmのランニングを欠かさず行い体力が落ちないよう心がけています。
- 将来の夢や目標を聞かせてください
一高校卒業後はスポーツ専門学校へ進学し、審判員を続けるつもりです。現在は3級審判員の資格を持っていますが、今後上級資格を取得し、いつか国際試合の主審を務めてみたいです。



▲全国少年サッカー大会決勝戦のピッチに立つ
葛原さん(左から4人目)



第25回あいの土山マラソン2011

2,568人が健脚競う

25回を数える「あいの土山マラソン」が11月6日開催されました。昨年は台風接近により中止となったため、2年ぶりの開催となりましたが、気温20℃と例年より暖かい気温の中、全国各地から集まった2,568人のランナーは、沿道の声援を受けながら秋の土山路を力走しました。

また、今回メキシコオリンピック銀メダリストの君原健二さんがゲストランナーとしてハーフマラソンの部で出場され、大会に花を添えました。



▲力走するランナー

個性あふれる力作 632点が集まる

甲賀市青少年美術展

市内の保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校の園児・児童・生徒の美術作品を展示する「甲賀市青少年美術展」が11月11日から13日まで、碧水ホールで開かれました。会場には、子どもたちが日頃授業やクラブ活動などで造られた立体・絵画・書写作品632点が展示され、訪れた人々は、趣向を凝らした作品や本格的な作品に見入っていました。

子どもたちの創造力の豊かさに触れることのできる、芸術の秋にふさわしい展示会となりました。



▲個性的な作品が並んだ会場



元気なまちかど

本物の舞台芸術を体験

油日小学校に芸術団体「ミクル☆ミュージカル」が来校、ミュージカル公演が行なわれ、全校児童、保護者らが鑑賞しました。

この公演は、文化庁主催の「次代を担う子ども芸術体験事業」として全国で巡回されており、甲賀市では同校での実施となりました。この日は、いじめ問題を通して、人と人との支えあうことの喜びをテーマとする「メッセンジャー」が披露されました。

また、公演に先立ち事前に6年生が劇団員とタイトル曲「メッセンジャー」の歌と踊りの指導を受けており、この日のカーテンコールで、ステージに登場しました。

児童たちは、大きな声と息のあった振り付けで、積み重ねてきた練習の成果を披露、場内から大きな拍手と歓声が沸き起こり、文字通りの本物の芸術体験に皆満足そうでした。



▲カーテンコールで舞台上がる児童

ためき休むでえ～

信楽焼きのためきといえ、店先や玄関先で愛くるしい顔で、訪れた人たちを癒してくれますが、毎日がんばっているためきを休ませようとするイベント「ためき休むでえ～」が今年も11月5日～8日に行われました。

期間中まちなかのためきたちは、お風呂に入ったり、市内の保育園・幼稚園の園児に作ってもらったアイマスクを付け、ぐっすりと就寝するなどして休日を楽しみました。



▶園児が作ったマスクを付け休むためきの置物

年に一度の休暇を満喫

水口岡山城と城下町をめぐる

城跡や城下町を探访 ～まると水口城

豊臣秀吉の家臣中村一氏が築城した水口岡山城跡や城下町跡を訪ね、城と城下町が一体となった水口の魅力を



▲城跡で説明を聞く参加者

知ってもらおうと、県・市教育委員会共催の現地見学会が11月12日行なわれ、市内外から歴史ファン60名が参加しました。

古城山山頂の水口岡山城跡では、廃城後わずかに残った「大石垣」や、敵の侵入を防ぐために造られたとされる水のない「堀切」などが職員から紹介され、参加者は興味深く見入っていました。

古城山下山後は水口ボランティアガイドの方の説明を受け、城下の水口宿に関連する史跡を巡りました。

参加した郷土史研究家の男性は、「以前から興味があった水口岡山城跡や城下町の佇まいを見ることができ勉強になりました。」と感想を語っていました。